

ご挨拶

平成27年度の東京都中学校体育連盟の諸事業につきましては、大会運営等ご苦勞をおかけしましたが、多くの皆様のご尽力とご協力により、大きな成果をあげて終了することができました。改めて心からお礼と感謝を申し上げます。

5月の第1回理事会におきまして、役員補充と運営方針並びに活動の重点等が承認され、平成28年度の本連盟の活動がスタートいたしました。本部役員、各競技専門部、各ブロック・支部の方々を力合わせて、本連盟の事業を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、現行学習指導要領の実施から5年が経過し、各学校においては、趣旨の徹底及び内容の充実については十分に実践されていると同時に、総則の部活動に関する事項についても工夫がなされているところと存じます。平成28年度東京都教育庁主要施策には、新たに取り組みの方向5【体を鍛え健康に生活する力を培う】に主要施策13として「体力向上を図る取り組みの推進」主要施策14として「健康づくりの推進」、取り組みの方向6【オリンピック・パラリンピック教育の推進】に主要施策15として「オリンピック・パラリンピック教育の推進」の施策が示されております。さらに、昨年度につきましても、各競技専門部において、指導者講習会を実施し、適切な指導の在り方について研究を推進してまいりました。言うまでもなく、運動部活動の意義は、生徒の個性・能力の伸長や健康増進・体力向上に寄与するのみならず、思いやりの心や自主性・社会性を育て、豊かな人間関係や生涯学習の基礎をつくる上で極めて重要な教育活動であります。全ての指導者が運動部活動の意義を踏まえた指導の在り方を一層見直すとともに、体罰など行き過ぎた指導をしないという強い信念と指導体制を構築する必要があります。

以上、学習指導要領や東京都教育庁主要施策、運動部活動指導の在り方等をふまえて、東京都中学校体育連盟としても、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成、並びに、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒の育成を求め、これまでも推進してきた学校教育の一環としての運動部活動のさらなる発展を考えなくてはなりません。このように考えたときに本連盟に寄せられる期待は大きく、また、担っていく役割は重要であります。

このような期待に応えるためにも、望ましい運動部活動の在り方や運営方法、指導技術の在り方、また、保健体育授業の指導方法等について研究を深め実践を深めていくことが重要と考えております。さらに、体育・スポーツに関する様々な答申等研究と理解を深めるとともに、(公財)日本中学校体育連盟・関東中学校体育連盟等との連携・協力に努め、多くの課題の解決に努力をしていかなければなりません。特に大きな課題としては、事務局員雇用財源の確保であります。現在は非常勤教員を充てていただいておりますが、30年度で打ち切りとなります。今後はその雇用財源を確保していくため、加盟費・登録費の増額も含めた検討を進めるとともに関係各位との折衝を進めてまいります。

今年度は、関東中学校体育大会の「陸上競技」が東京で開催されます。この開催を含め、様々なことへ対応していくためにも、本連盟が、準備を整えて推進することが肝要と考えております。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。